

## 印西市環境推進市民会議からの意見まとめ

### ○基本目標 1（自然環境）

緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して

里山保全や希少在来動植物の保護を目的としたボランティアや団体の数をさらに増やすことを推進されたい。（上田委員）

里山、竹林、耕作放棄地に対する市民の活動を Back UP する補助金制度の新設等を検討しその整備・保全を推進し緑地保全に努められたい。（白川委員）

制定した景観条例を活用し、里山保全や荒廃した田畑・竹林の再生に努められたい。（根本委員）

人的被害や農産物等に被害をもたらす有害鳥獣の捕獲・駆除を積極的に継続されたい。（根本委員）

ブランド力のある農産物の生産と後継者育成とともに、地産地消を啓発し、地域の活性化と農地の保全を図られたい。（根本委員）

外来生物についての情報を学校関係者にしっかり周知されたい。（橋本委員）

印旛沼の保全にももっと力を入れていただきたい。（橋本委員）

イノシシ駆除に携わる猟友会の高齢化に伴い、市内の大学等と連携して猟友会会員を増やすよう市として協力されたい。（橋本委員）

身近にイノシシが出没しています。捕獲の一層の強化をして欲しい。（平林委員）

里山、竹林等を守るボランティア団体を増やし、補助金などを充実する。（福井委員）

里山、小川等の希少生物・植物を守り育てる活動を推進する。（福井委員）

生物多様性の観点から、市内における希少生物の保護や特定外来生物の拡散防止に向けた取り組みを市民に向けて発信されたい。（松崎委員）

### ○基本目標 2（生活環境）

安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して

師戸川の水質を改善すべく、下水道の整備、高度合併処理浄化槽の普及をさらに推進されたい。（上田委員）

下水道の整備、合併浄化槽の導入促進を通じて一層の水質改善に努められたい。（白川委員）

下水道の整備計画のさらなる推進、合併浄化槽の導入を進め、河川、湖沼の水質改善に努められたい。（根本委員）

河川等の水質保全のために、各家庭での合併浄化槽設置の推進だけでなく、河川に汚水が入る前での浄化施設の設置も検討されたい。（橋本委員）

ヤードについては定期的に巡回訪問指導されたい。（橋本委員）

防犯カメラの設置を促進し、町内会などに防犯カメラを設置する場合の補助金などを充実する。（福井委員）

合併浄化槽の推進を図る。（福井委員）

急速な宅地化と新設道路の開通などにより周辺環境の変化は大きい。将来にわたる良好な生活環境保全に向け、環境変化に合わせた市独自の調査地点の観測の追加とその結果を公表されたい。（松崎委員）

### ○基本目標 3（都市環境）

都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して

いま世界的に問題になっている「海洋プラスチック汚染」の主な原因になっているごみの「ポイ捨て」、「不法投棄」に今以上厳しく取り締まるべきである。(岩井委員)

無届の再生資源ごみ回収業者を排除し、廃棄物が正しく処理されるよう住民を啓蒙されたい。(上田委員)

不法投棄防止のため警察、自治会との連携強化を図り巡回強化等実行推進されたい。(白川委員)

ごみのポイ捨てやペットの糞放置について、市民や飼い主への注意喚起の強化に努められたい。(根本委員)

ゴミゼロ運動に参加を促す具体的で実効性のある方策を検討されたい。(根本委員)

シティープロモーション課と連携し、地域振興に繋がるよう努められたい。(根本委員)

店での飲食後やお祭りなどのイベントの際のごみの分別で気になる事がしばしば見受けられる。飲食業者やイベント主催者にも市の分別と同じように取り組んで貰える様指導されたい。(橋本委員)

印西市は財力があります。印西市の内に居る分は最高です。電車代が安くなれば、住む人が増えるでしょう。(平林委員)

里山でのペットの散歩でフンを必ず持って帰って欲しい。(平林委員)

幹線道路脇のゴミが多いので、車からのポイ捨て禁止の対策を強化されたい。(平林委員)

ふれあいバスの拡大(地域的にも・時間的にも増便)を図る。(福井委員)

ゴミゼロの回数を年2回ではなく、年4回にする方向で検討していただきたい。(福井委員)

ゴミ拾いボランティアの募集を検討していただきたい。(福井委員)

ゴミゼロ運動に併せた、ポイ捨てゼロ運動についても強化を図られたい。(松崎委員)

既成公園内での犬の放し飼い禁止の徹底、一方でドッグラン専用広場を確保するなど、市民の誰もが安心してくつろげる身近な公園づくりを目指されたい。(松崎委員)

#### ○基本目標4(地球環境)

低炭素社会の構築に向けた、地球環境に負荷を与えないまちを目指して

印西市は温室効果ガスの削減目標として「印西市市内エコプラン」(平成22年比平成29年度まで5%削減)しか立てていない。しかも「パリ協定」を反映した千葉県目標(2030年度までに2013年度比22%削減)と比べても劣っている。印西市全体の温室効果ガス削減計画(削減目標)を作成し、まち全体で低炭素化社会実現に取り組むべきである。(岩井委員)

個人住宅における太陽光発電システム設置をさらに推進されたい。(上田委員)

一層のごみの分別、減量化の推進を図り循環型社会の構築に努められたい。(白川委員)

市民のニーズにあったふれあいバスの運行を検討し、市内の交通インフラ格差解消とともに、温室効果ガスの排出削減に努められたい。(根本委員)

再生可能エネルギーの転換を図るため、その重要性を周知するとともに、助成制度などの拡充に努められたい。(根本委員)

レジ袋の使用量を減らすために、完全有料化を推進されたい。(橋本委員)

ふれあいバスの利用促進。高齢者が増えて車を手放す人が増えています。ふれあいバス

を身近な足として利用できるように今の倍は走って欲しいです。皆の声は、行は良くても帰りが無い。イルミネーションにお金を使うなら、バスを1台でも多く導入して欲しい。(平林委員)

ウォームビズを家庭でも進めて、暖房費の削減を図る。1枚多く羽織る。(福井委員)

環境家計簿の普及促進を図る。(福井委員)

クールチョイス活動を市民に普及促進していただきたい。(福井委員)

家庭内から出る紙類を資源物として、また生ごみ類は水切りをおこなうなど、ごみ減量作戦を推進されたい。(松崎委員)

市内に点在する歴史的文化財を訪ね歩くウォーキングマップを作成し、市民が文化財と健康の両面に関心を持つ資料づくりを検討されたい。(松崎委員)

○基本目標5 (人づくり)

環境配慮行動の実践者を拡大し、みんなで環境を育てるまちを目指して

あらゆる年齢階層への環境講座・イベントをさらに推し進められたい。とくに小中学校での継続した環境講座を息長く推進されたい。(上田委員)

環境保全活動へのシルバー世代 (**Know How** の共有) の活用策を積極的に推進されたい。(白川委員)

小学校・中学校の環境教育の機会を増やし、実践的な環境活動を推進し、環境意識の向上に努められたい。(根本委員)

環境について活動している市民団体の把握とそのネットワーク作りをして頂きたい。(橋本委員)

低学年の子供の頃から、ペットは必ず最後まで飼うことを教育して欲しい。子供の力は大きい。(平林委員)

小学校、中学校の環境教育の機会を増やし、地球環境、自然環境への関心の促進を図る。(福井委員)

人間と生活ゴミとの係り、例えば古代遺跡の貝塚遺跡から見た古代人のゴミの扱いと現代人の環境に配慮した行動を対比した企画展などを開催されたい。(松崎委員)

提出先 印西市環境保全課

〒270-1396 印西市大森 2364-2

E-mail [kankyouka@city.inzai.chiba.jp](mailto:kankyouka@city.inzai.chiba.jp)

FAX 0476-42-5339